

平成28年度群馬県立図書館サービスに対する評価

評価指標として設定した10項目のうち、5項目について目標値を上回った。

『県内図書館等に対する支援の充実』の「図書館等職員研修参加人数」、『群馬県に関する資料・情報の網羅的収集と保存』の「郷土資料受入冊数」、『情報発信の充実』の「ホームページの更新件数」、「メディア掲載件数」、「新規事業参加者数(ビブリオバトル)」の5項目が目標を達成した。これは、研修会については前年度のアンケート結果を分析し、よりニーズの高いテーマで研修を実施したことが、結果に結びついたものである。郷土資料受け入れ冊数については郷土資料出版の情報をつかみ、個別に寄贈依頼を行ったことが成果として表れている。「ホームページの更新件数」は積極的な事業展開の結果、掲載すべき情報が予想より多かったためと考えられる。「メディア掲載件数」が目標を上回ったのは、今まで以上にマスコミへの情報提供を積極的に行ったことが数字に表れてきていると考えられる。新規事業参加者数(ビブリオバトル)は初めての試みであったが、ホームページ等からの積極的な情報発信が予想以上の集客に結びついたものと考えられる。なお、デジタルライブラリーへのアクセス件数の達成状況が悪かったのは、新規登録数が不足したものと考えられる。

目 標	評 価 指 標	目 標 値	実 績	達 成 状 況	自 己 評 価	摘 要
高度な専門的 情報サービス の提供	調査相談件数	6,600	6,440	98%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館が提供する「国立国会図書館サーチ」や「レファレンス共同データベース」などのサービスを積極的に活用し、高度なレファレンスへの回答に努めた。 ・ホームページに県内公共・学校・大学図書館用のレファレンスマールフォームを作り、各館職員が解決できない事例について気軽に相談できる環境作りに努めた。 ・利用者が自分で調べられるよう、利用指導や「調査相談事例・郷土人物データベース」の充実に努めたり、配架・掲示をわかりやすく工夫したりしたことも、カウンターに寄せられる件数が伸びなかった原因の一つと考えられる。 ・引き続き質の高いレファレンスサービスに努めていきたい。
	レファレンス資料 受入冊数	850	725	85%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書・事典、統計書、白書、年報、図鑑等、レファレンス資料の重点的な購入を行った。 ・県民の情報ニーズに対応し、より高度で専門的な情報サービスを提供できるよう、引き続き資料収集に努めていきたい。
図書館ネット ワークの 充実強化	相互貸借冊・点数	13,300	13,002	98%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値は若干下回ったが、前年度実績(12,900)は上回る事ができた。 ・相互貸借担当者会議や学校図書館関係者実務研修会等で相互貸借システムの周知を図るとともに未参加の県立高校等に対し、積極的に参加を促すなどした結果、高等学校からの依頼が増加した。
	横断検索システムの 検索件数	242,000	223,812	92%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの周知、利用促進のため、県内図書館員に対し、操作説明会を行った(平成28年度相互貸借担当者会議内にて実施) ・システム未使用の相互貸借参加館に積極的に周知を行い、参加館(検索のみ)が新規に8館増加した。 ・今後もシステムの充実を図るとともに、県民への周知を図っていきたい。
県内図書館 等に対する 支援の充実	学習支援図書貸出冊数	6,800	5,455	80%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出校数は前年度48校から56校に増加し、特別支援学校や高等学校への貸出冊数も増加したが、小学校への貸出が、減少したことにより、目標値を下回る結果となった。 ・今後とも、引き続き、利用増加に向けて県内学校へのPRIに努めていきたい。
	図書館等職員研修 参加人数	290	357	123%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・司書実務研修会では、前年度のアンケートを参考にテーマを決めたり、研修テーマごとに参加希望を募るなど研修参加への工夫を行った。さらに、学校関係者へも研修参加を呼びかけた。 ・学校図書館関係者実務研修会では、前年度の研修会後のアンケートを参考にテーマや講師を工夫し、参加者の増加につなげている。
群馬県に関 する資料・ 情報の網羅 的収集と保 存	郷土資料受入冊数	2,100	2,207	105%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等を通じて郷土資料の出版情報をつかみ、個別に寄贈依頼を行って収集に努めた。 ・県内公共機関等に対して、郷土資料の寄贈について依頼を行った。 ・引き続き、県内各地にかかわる資料の網羅的な収集に努めていきたい。
	デジタルライブラリーへの アクセス件数	23,600	17,169	73%	C	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は、新規にデジタル化した資料の登録および抽出紹介が不足し前年度を下回ったが、養蚕・製糸関連資料の二次利用申請は続いており、紹介資料次第でアクセスが見込める。 次年度以降は中島文庫資料を中心に定期的な紹介・更新を行い、昨年度実績を越える利用を目指したい。
情報発信の 充実	ホームページ更新件数	220	225	102%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施報告、開催中の展示案内等の情報提供機会を増やすなど積極的な情報発信を心がけ、ホームページ内容の充実を図った。 ・今後もより利便性の高いホームページを目指し、コンテンツの充実に努めていきたい。
	メディア掲載件数	80	88	110%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館大会や、時宜にかなうテーマに沿った資料の展示等の他、子どもの読書活動推進を図る「ビブリオバトル」といった新しい取り組みの情報を積極的に報道機関へ提供し、取り上げてもらうことができた。 ・群馬県の施策を支援するテーマ展示やイベントの開催を企画・実施し、情報を積極的に発信した。 ・引き続き、図書館に対する関心を高めるため、情報発信を積極的に行いたい。
	新規事業参加者数(ビブリオ バトル)	50	125	250%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国高等学校ビブリオバトル2016群馬県大会」は、県高等学校教育研究会図書館部会の協力のもと、県内9地区から17人が出場し、開催された。 ・初めての試みであったが、目標とする観戦参加人数を大きく上回る結果となった。 ・その理由としては、県や県立図書館のホームページを積極的に活用し、情報発信の機会を増やすとともに、ビブリオバトルをテーマとする講座・研修を実施するなどして、関係者にビブリオバトルに対する理解を深めてもらったことなどによるものと考えられる。

評価基準

評 価	評 価 内 容	評価の目安
A	数値目標を達成し、期待する成果があった。	100%以上
B	数値目標をほぼ達成し、一定の成果があった。	80%以上100%未満
C	数値目標が達成できず、成果が不十分であった。	80%未満

参考

項目	H26	H27	H28
入館者数	272,653	185,637	244,501
県立図書館HPアクセス数	436,311	462,656	366,968
個人貸出冊数	366,141	234,838	303,255